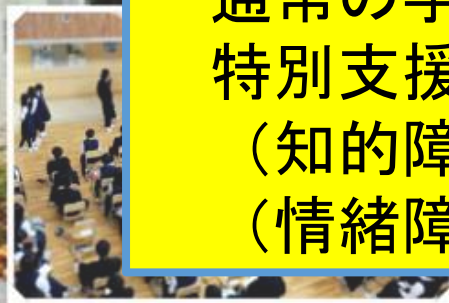


特別支援学級における小・中学校間の 切れ目ない支援の充実に向けて ～小中交流と連動した情報共有型の引継ぎについて～

日時：令和6年2月28日（水）15：25～16：10
北海道立特別支援教育センター長期研修者教諭 菅 彩子
（釧路市立阿寒中学校）



釧路市立阿寒中学校



釧路市立阿寒中学校 生徒数 49名
通常の学級 3学級
特別支援学級 2学級
(知的障がい特別支援学級 2名)
(情緒障がい特別支援学級 4名)

釧路市立阿寒小学校

釧路市立阿寒中学校

義務教育学校として開校予定（令和11年度より）

小中連携

四校連携

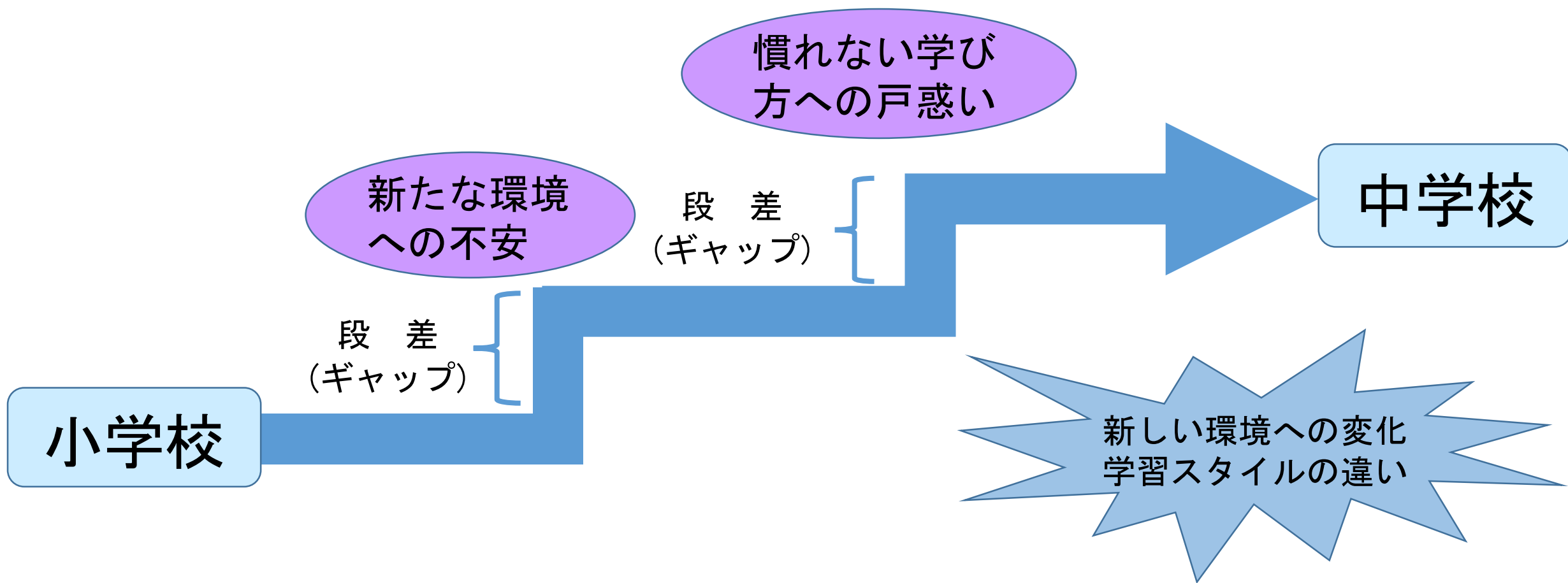
特別支援部会

内容

- 1 はじめに
- 2 研究に至った背景
- 3 研究の内容
- 4 取組の内容
- 5 今後に向けて

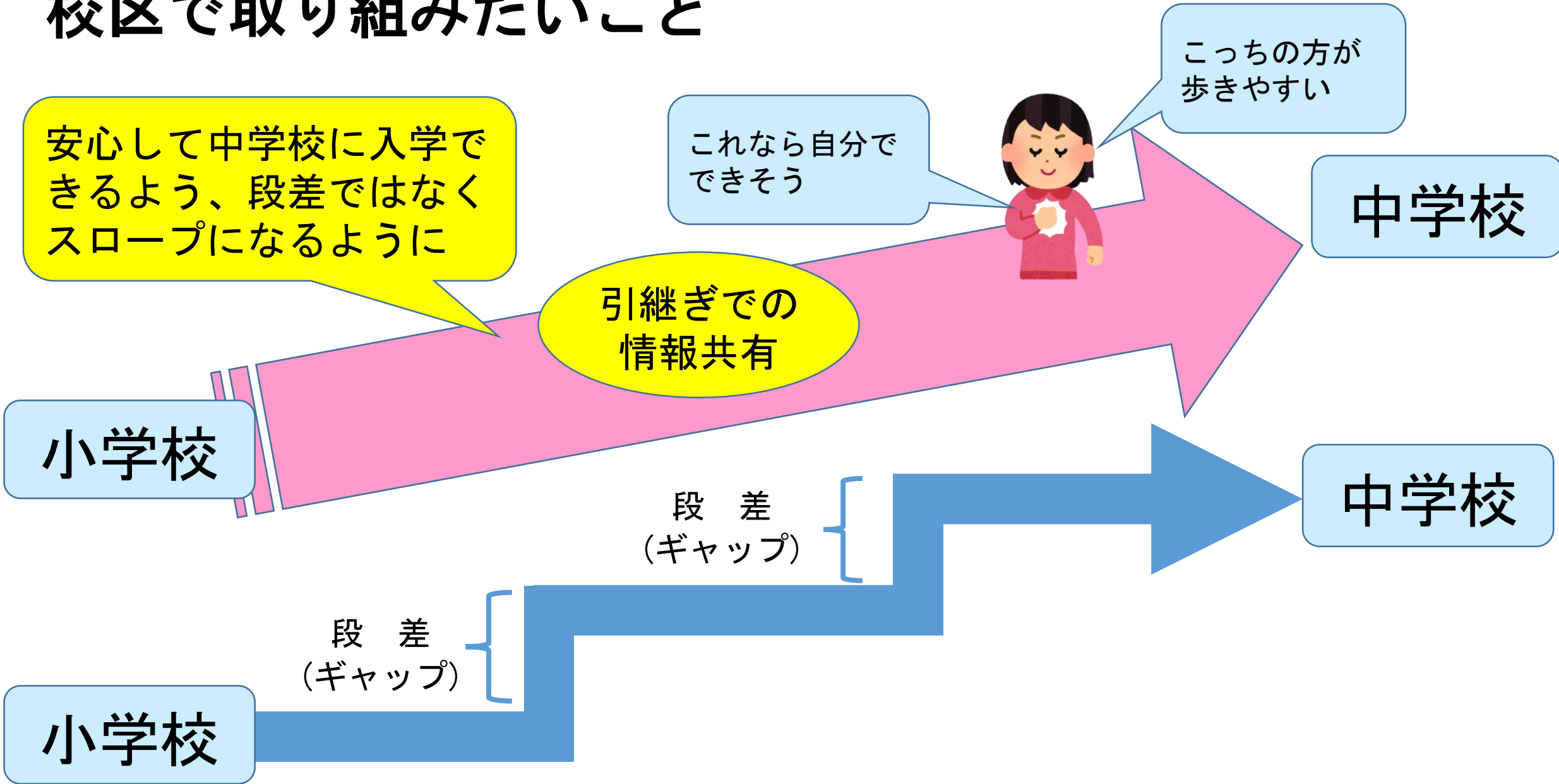
1 はじめに

校区で取り組みたいこと



児童一人一人が安心して中学校に入学するためには、どんな「スロープ」が必要か

校区で取り組みたいこと



2 研究に至った背景

(1) 校区の引継ぎに関わる課題

- ア 「個別の教育支援計画（マリーモ）」は、作成することが目的化されており、実際の指導に生かされていない。
- イ 学級担任間で行う3月の引継ぎだけでは、支援が必要な児童の実態理解が深まりにくい。
- ウ 児童の特性や課題、よさなど指導に生かせる一人一人のエピソード（学校や日常生活の詳しい様子）の把握が難しい。



先生方の目や耳で児童の実態に関わる情報を聞き、引継ぎの内容や回数を厳選する必要がある。

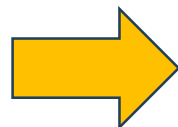
(2) 課題に関わる背景①

国における特別支援学級の引継ぎの現状と課題

「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果」

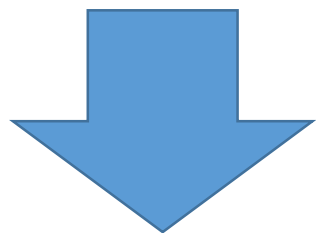
学習面で著しい困難を示す児童生徒の割合

小学校第 6 学年 6.4%



中学校第 1 学年 4.1%

2.3%は、困難が改善されている？



- ・ 環境の変化、必要な支援の変化が大きい。
- ・ 困難が改善されたわけではないと考えられる。

情報が確実に引き継がれていないことも理由の 1 つ

(2) 課題に関わる背景②

校区の特別支援学級の先生方へ実施した引継ぎに関わる事前アンケート 【質問】

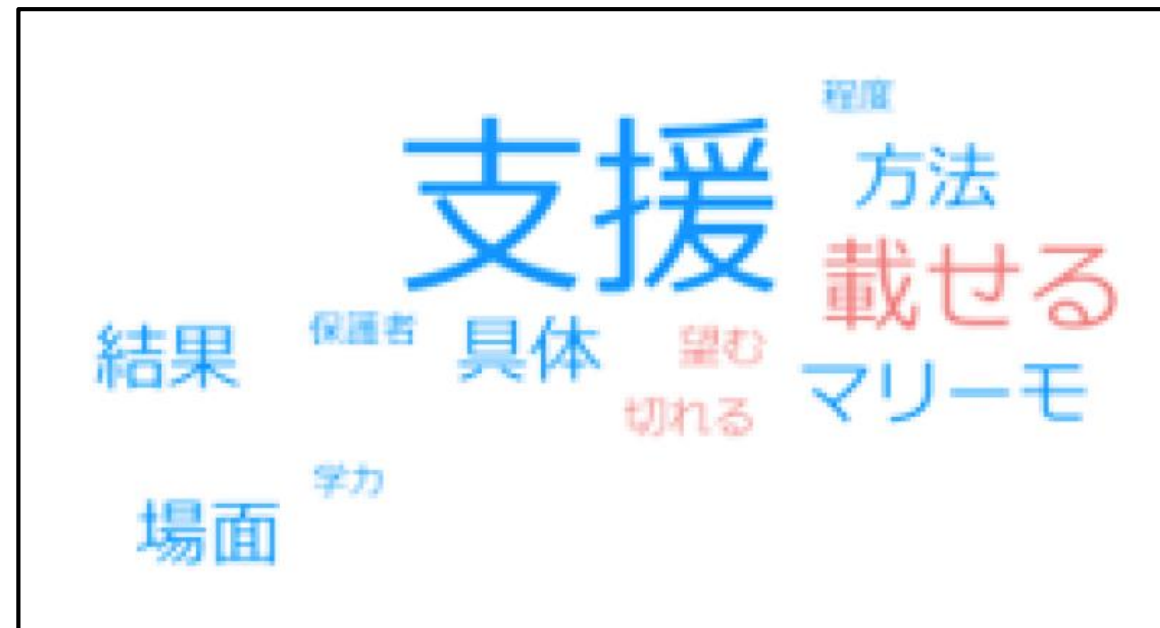
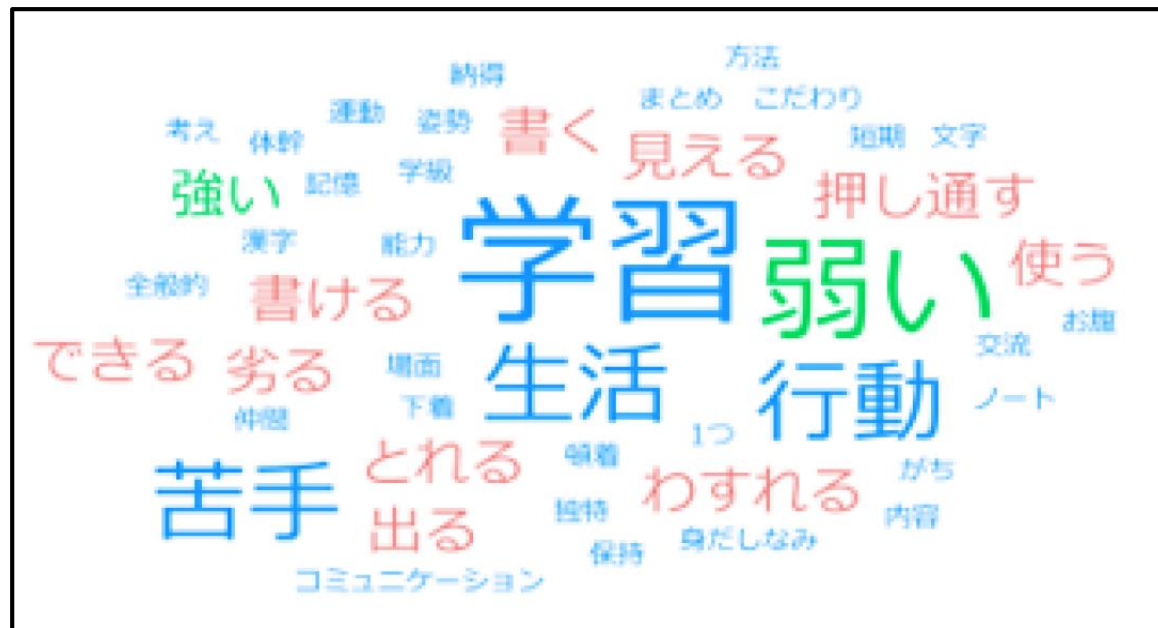
- 1 6年男子Aさん（知的）について、中学校の先生に伝えたいことはどんなことですか。
（小学校の先生に聞きたいこと）
- 2 6年女子Bさん（情緒）について、中学校の先生に伝えたいことはどんなことですか。
（小学校の先生に聞きたいこと）
- 3 これまで「個別の教育支援計画（マリーモ）」を記入していて、書くのが難しい、書きにくいと感じるところはありますか。
- 4 「ある」と答えた方に質問です。書くのが難しいと感じるところは、どこですか。
- 5 「個別の教育支援計画（マリーモ）」の記入において、こうなったら良いと思う様式や、必要だと思う項目があれば教えてください。

(2) 課題に関わる背景③

校区の特別支援学級の先生方へ実施した引継ぎに関わるアンケート結果

【小学校】

【中学校】



- 児童の学習面、課題について伝えたい。
- 「個別の教育支援計画」では「環境面」の記入欄が書きにくい。

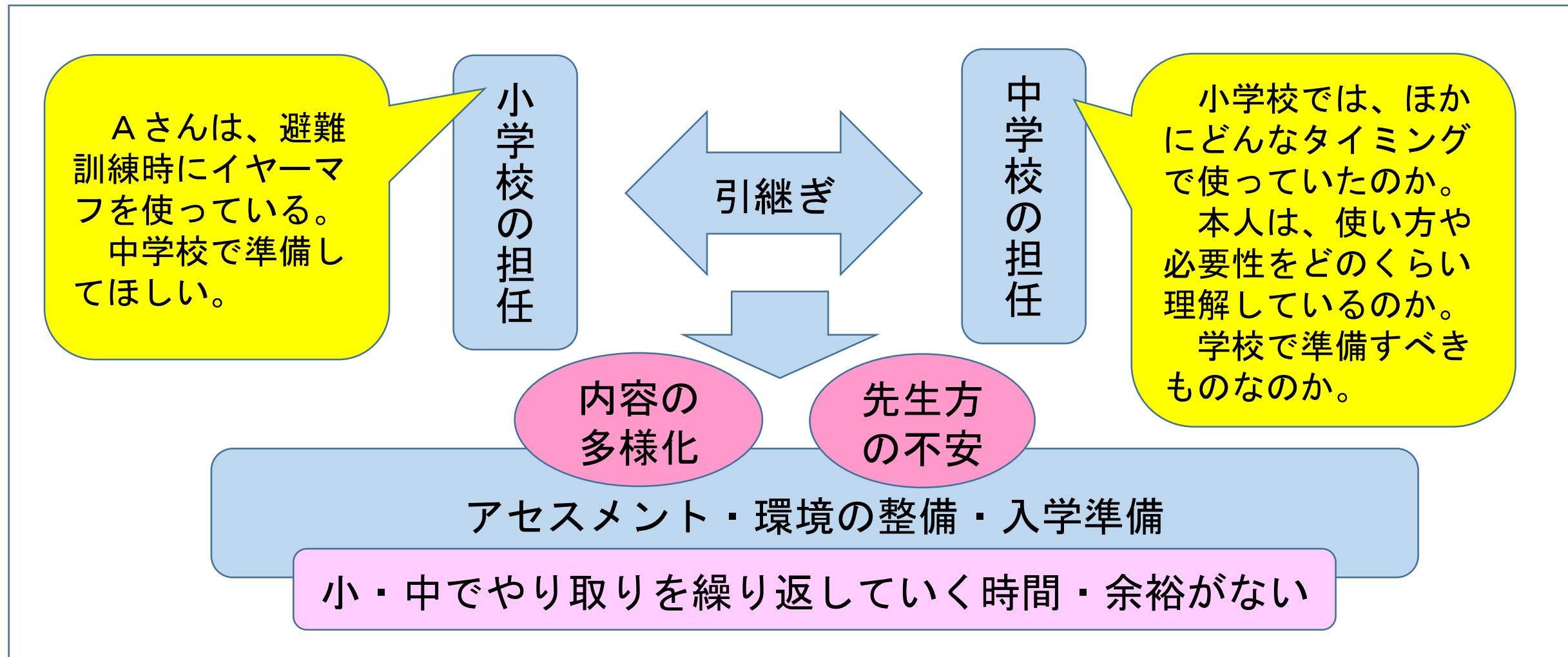
引き継ぎたい情報と、 引き継がれたい情報 の乖離

- 具体的な場面で、どう支援したかを知りたい。
- 保護者はどの程度の学力を求めているのか。

(2) 課題に関わる背景④

校区の特別支援学級における引継ぎの現状と課題

【引継ぎ事例】



3 研究の内容

(1) 研究の目的

特別支援学級における小・中学校間の引継ぎ資料の様式と、引継ぎ時期、回数、時間設定を検討し、年間を通して引継ぎを進められるようにする。

(2) 研究の仮説

特別支援学級における小・中学校間の引継ぎ資料の様式と、引継ぎ時期、回数、時間設定を検討することで、児童の中学校へのスムーズな移行が確保できる。

(3) 研究の方法

- ア 釧路管内の様式である「個別の教育支援計画（マリーモ）」の一部を改訂する。
- イ 引継ぎのミーティング時期、回数、時間設定を検討する。
- ウ 他地域の引継ぎの事例を収集するため聞き取り調査を実施し、校区の引継ぎの取組に反映させる。

4 取組の内容

(1) 共有を進めるための「引継ぎマリーモ」の活用

「個別の教育支援計画(マリーモ)」の一部を「引継ぎマリーモ」として改訂

マリーモ ⑤ー2 現在の様子									
		学校	第	学年	作成日	令和	年	月	日
希望や願い									
	現在の希望				将来の希望				
本人									
保護者									
◆支援の長期目標◆									
◆支援の短期目標◆									
生活面	気になること(課題)				成長のための手立て				
	本人について		環境について		本人について		環境について		
	支援の結果								
(令和 年 月 日 記入者:)									



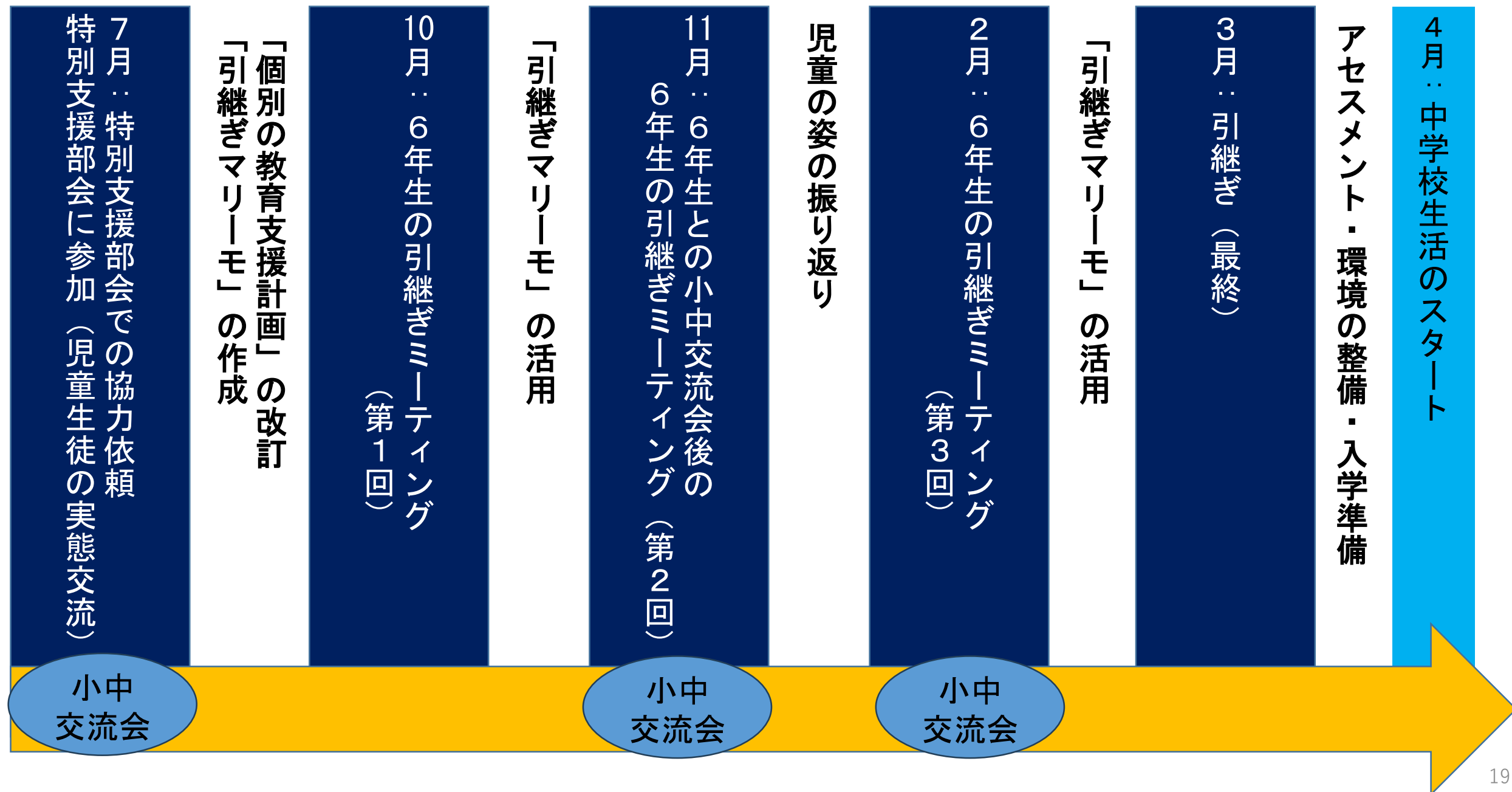
引継ぎマリーモ ⑤ー2 現在の様子(第6学年)												
		氏名〔	〕	学校	第	学年	作成日	令和	年	月	日	
希望や願い												
	現在の希望						将来の希望					
本人												
保護者												
◆支援の長期目標◆												
◆支援の短期目標◆												
生活面	気になること(課題)						成長のための手立て					
	本人について			環境について			本人について			環境について		
	支援の結果											
(令和 年 月 日 記入者:)												

「できていること」、「支援が必要なこと」、「こうしたらうまくいった」という手立ての欄を新たに追加



できていること	
支援が必要なこと	
「こうしたらうまくいった」という手立て (または現在の手立て)	

ア 「引継ぎマリーモ」を使った年間の引継ぎミーティングの流れ



イ 事例 1

<小学校第6学年 Aさん>

① 7月24日 特別支援部会に参加

周囲の児童とのコミュニケーションに課題がある。



② 10月6日 6年生の引継ぎミーティング（第1回）

- オンラインで実施
- 目的

- (1) 6年生の主に「生活面」「行動面」「人とのかかわり」について実態把握を行う。
- (2) 「引継ぎマリーモ」を引継ぎに活用する。

- 特別支援部会の先生方が参加。

Bさんに関わる具体的なエピソード

生活面	何になること（理想）		成長のための手段		できていること 支援が必要なこと 「こうしたらうまくいった」という学習で（家庭・調音の学習で）
	本人について	環境について	本人について	環境について	
	変遷の結果				
（令和 年 月 日 記入者： ）					
行動面・運動面・感覚面	何になること（理想）		成長のための手段		できていること 支援が必要なこと 「こうしたらうまくいった」という学習で（家庭・調音の学習で）
	本人について	環境について	本人について	環境について	
	変遷の結果				
（令和 年 月 日 記入者： ）					

「YouTube」の視聴のし過ぎは課題になるが、動画作成や好きなことに夢中になれることは強みでもあるのでは？

③ 11月9日 6年生の引継ぎミーティング（第2回）

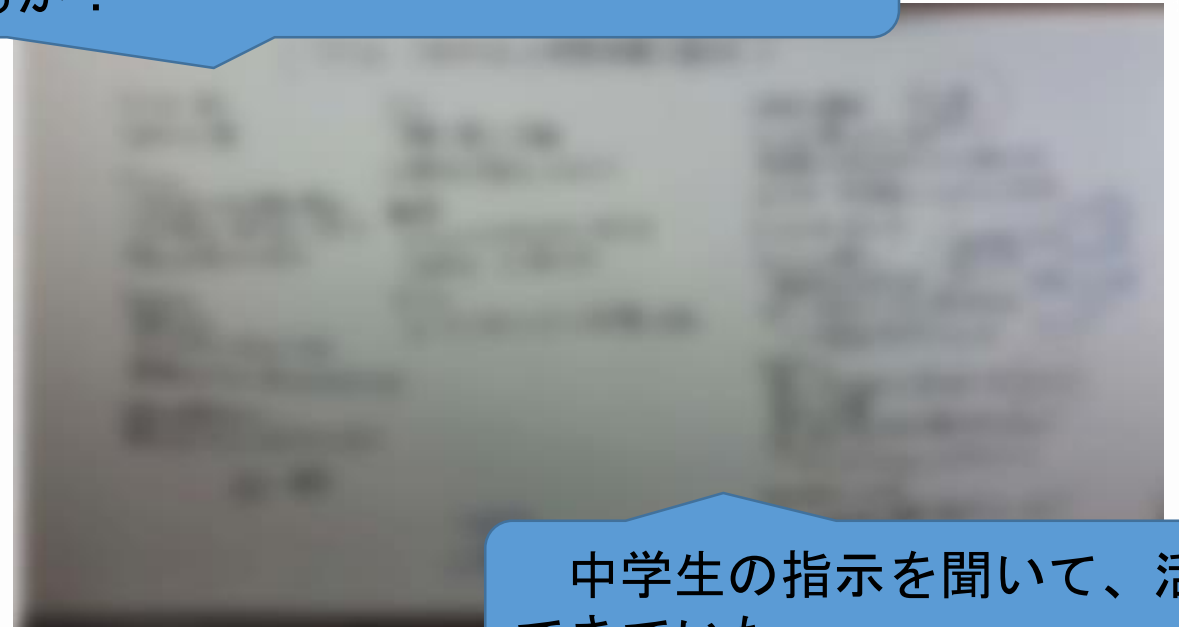
- オンラインで実施

- 目的

前回の引継ぎミーティングの内容を踏まえて、小中交流会後の児童生徒の様子振り返りを行う。

- 特別支援部会の先生方が参加

こんなとき、学校生活で具体的にどう対応するか？



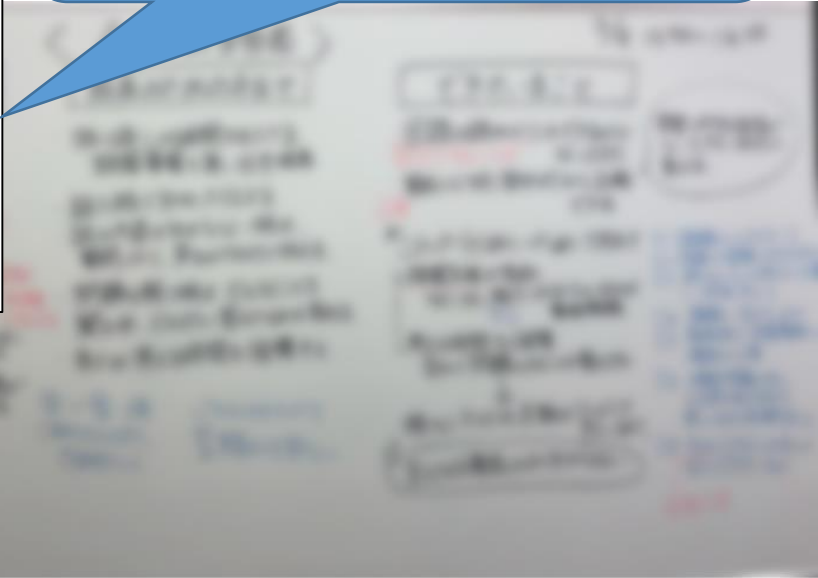
中学生の指示を聞いて、活動できていた。

④ 2月9日 6年生の引継ぎミーティング（第3回）

- オンラインで実施
- 目的
 - (1) 6年生の主に「学習面」について実態把握を行う。
 - (2) 「引継ぎマリーモ」を引継ぎに活用する。
- 特別支援部会の先生方が参加。

学習面	(令和 年 月 日 記入者:)					
	気になること(課題)		成長のための手立て		できていること	・国語の読み取りはできるようになってきた。単独な1問1答形式なら正解できる。 ・学習に対する自信がついてきているように見える。
	本人について	環境について	本人について	環境について		
	・短期記憶が弱く、学習したことを忘れてしまいがちである。 ・計算の手順など、順序に沿ったことが理解できないことがある。 ・話の内容がつかみきれない時がある。 ・学習したことがバラバラな状態で、結びついた理解にならない。 ・問題に正解した覚えができないときがある。 ・じっくり考えるため、結構な時間がかかる。		・繰り返し読みの時間を設け、読書習慣を思い出す場を設定する。 ・本人がとらえられる程度まで語を短く区切って伝える。 ・話の内容がわからない時は、質問したり声をかけるように伝える。 ・問題を解くときは、どんなことを覚えて、どのように答えたら良いかを教える。 ・本人が考える時間を保障する。		支援が必要な こと	・課題を捉えること。 ・活動の受渡しを持たせること。 ・読み取ったこと、考えたことを整理し、吟味する事。課題に沿っているか、教師側で交通整理と確認が必要。 ・ノートの取り方、どこをノートに書くのか。 ・練習問題に対し、どの考え方や方法を用いるのか判断する事。 ※自力でできることも多いが、正しくできているか教師側で確認することが必要。
	支援の結果					
	(令和 年 月 日 記入者:)					
気になること(課題)		成長のための手立て			・なじめが強い相手とのコミュニケーション。	

理科の学習が好き。
動画など視覚支援があると理解が進む。



ウ 事例 2

<小学校第6学年 Bさん>

① 7月24日 特別支援部会に参加

身だしなみや身の回りの整理整頓
に無頓着なところがある。
周りの状況を考えない言動がある。



② 10月6日 6年生の引継ぎミーティング（第1回）

○ オンラインで実施

○ 目的

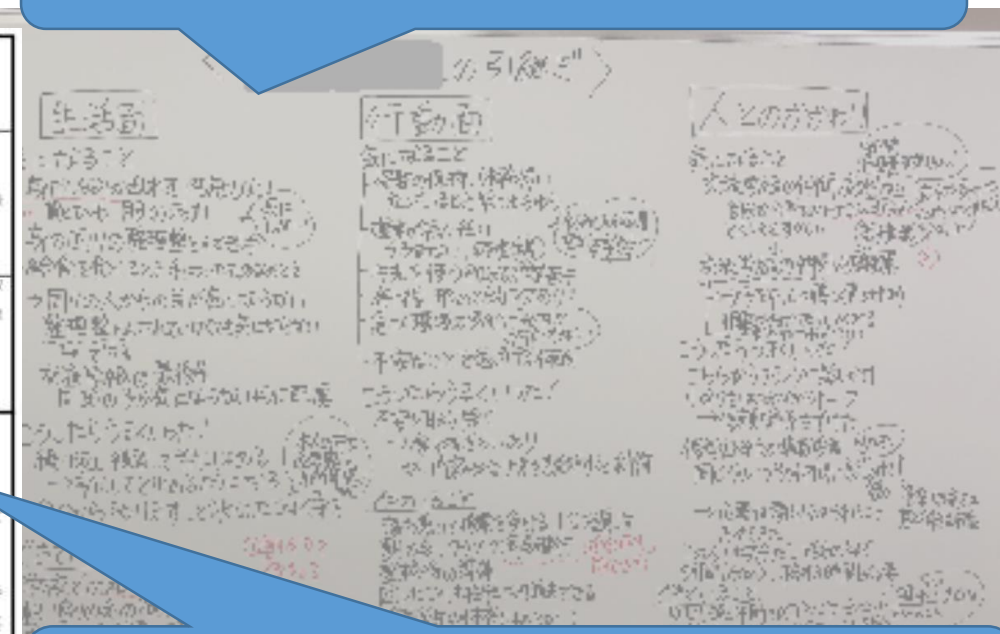
(1) 6年生の主に「生活面」「行動面」「人とのかかわり」について実態把握を行う。

(2) 「引継ぎマリーモ」を引継ぎに活用する。

○ 特別支援部会の先生方が参加。

やると決めたことは最後までやる。

生活面	気になること（課題）		成長のための手立て		できていること
	本人について	環境について	本人について	環境について	
	・最だしなみが着れていても気にしない。 ・髪ひもがほどけていても気にしない。 ・顔が汚れても全然気にしない。 ・鼻の周りの整理整頓が苦手である。 ・給食を食べる時、手についたものを拭き取ったり等する。	・基本的に、周りの人からの目が気にならないようである。 ・整理整頓が苦手である。 ・以前から交流学級の前後で両隣の目が気にならないように配慮してきた。	・最だしなみを整えることの意識を伝え、周りの人からの目についてもその程度を伝える。 ・髪ひもの結び方を練習する。 ・家庭科と連携しながら進める。 ・整理整頓の声かけをし、できたら褒めることで習慣づけをする。	・外出時は周りから見て恥ずかしくないようにする。 ・整理整頓しやすい仕組みを整える。	・学校での基本生活一日の生活。 ・朝の会・昼の会の進行。クラブの進行。 ・部活を見ながら早め遅めの出勤。 ・席りや送迎を控えていること。 ・放送部（朝の会・昼の会）。
	支援の結果				支援が必要なこと
(令和 年 月 日 記入者：)					
行動面・運動面・感覚面	気になること（課題）		成長のための手立て		できていること
	本人について	環境について	本人について	環境について	
	・体幹が強く、姿勢の保持が難しい。立った状態では肩にゆらゆら揺れている。 ・運動能力が全般的に低い。運動が好きではないため、体感が追加課題である。 ・手先を使う細かい作業が苦手である。 ・習字、日常生活には問題なさそうだが、文字や図形など、形の覚えにくさがあるかもしれない。 ・急な環境の変化に耐えられなかつた。数年度にわたって変わることがある。 ・不安なことを遠慮する傾向。	・休み時間は図書。空き時間はタブレットを通して通うことが習慣化されている。	・バランスボールやトランポリンなどに日常的に取り組ませることで、体幹を鍛える。 ・手先を使う作業の時には時間を確保し、落ち着いた取り組めるようにする。 ・ビジョントレーニングを通して、形の覚え方のトレーニングを進める。 ・不安を感じてもチャレンジできたことを褒め、自信を持たせていく。	・運動会やマラソンチャレンジなど表明して、積極的に体を動かす機会を設ける。	・持ち運びの授業を受ける。1日を過ごす。 ・朝の会やクラブなどの参加進行。 ・部活後の準備。 ・学校生活とは市街に相談できる。 ・当該学年の体育（なんとかなー）。
	支援の結果				支援が必要なこと
(令和 年 月 日 記入者：)					
				「こうしたらうまくいった」という手立て（または現在の手立て）	・不安を取り除くこと。 ・「誰かへさし」に集つくらしい必要感や有用感を持たせること。読書をする習慣はしてあげる。 ・図形や漢字は、注目させたいところの色を覚えたり、大きなサイズで提示したりした。



困ったことは学級担任に相談することができる。

③ 11月9日 6年生の引継ぎミーティング（第2回）

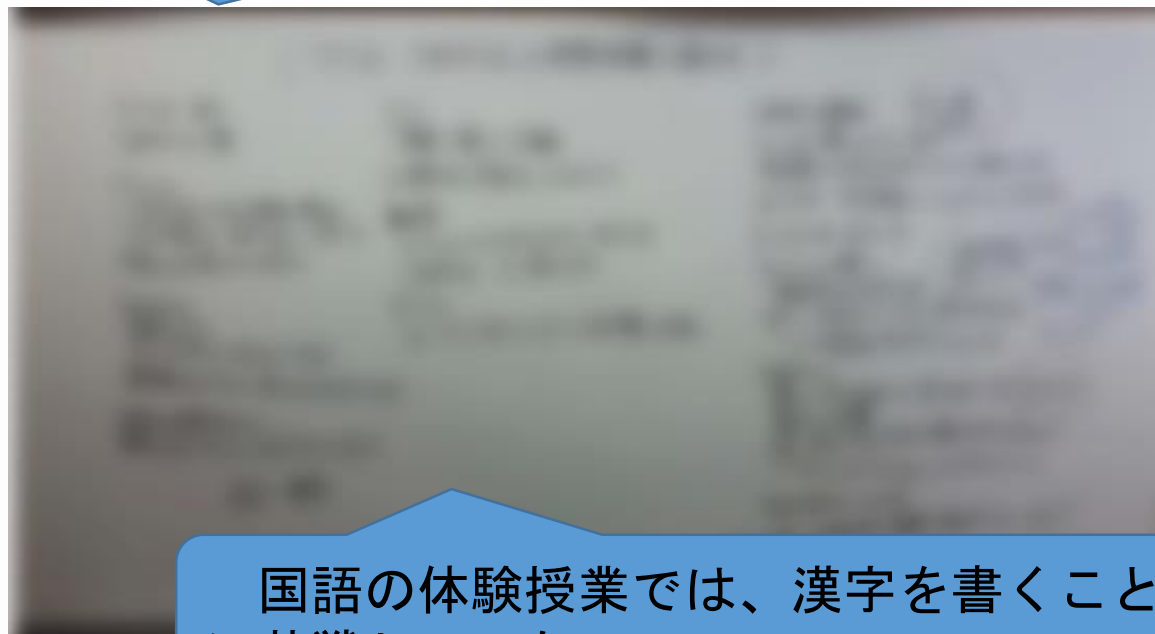
- オンラインで実施

- 目的

前回の引継ぎミーティングの内容を踏まえて、小中交流会後の児童生徒の様子の振り返りを行う。

- 特別支援部会の先生方が参加

「中学校にもう一度行きたい」との声があった。



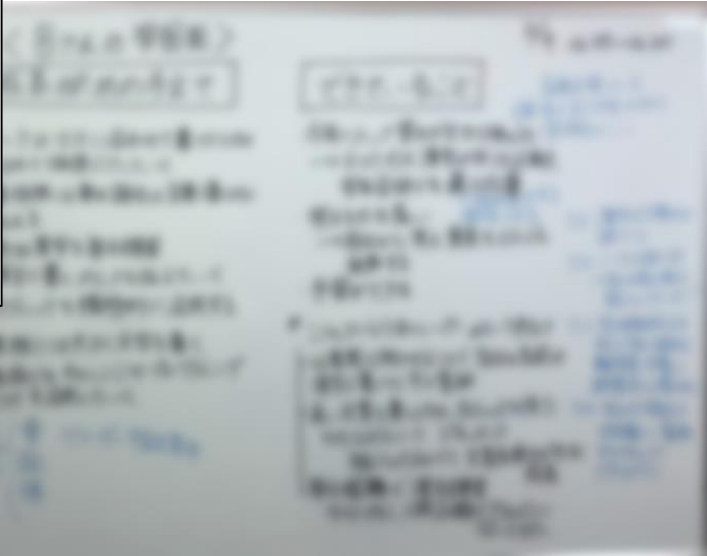
国語の体験授業では、漢字を書くことに苦戦していた。

④ 2月9日 6年生の引継ぎミーティング（第3回）

- オンラインで実施
- 目的
 - (1) 6年生の主に「学習面」について実態把握を行う。
 - (2) 「引継ぎマリーモ」を引継ぎに活用する。
- 特別支援部会の先生方が参加。

学習面	(令和 年 月 日 記入者:)					
	気になること(課題)		成長のための手立て		できていること	・今年に入って学力が大きく伸び、テストでは漢字以外はほぼ満点が取れる。学年全体でも最上位層にいる。 ・考える力も高く、自分から考えや意見をどんどん発表する事ができる。 ・手習ができる。
	本人について	環境について	本人について	環境について		
	・文字を大きさや形を整えて書くことが苦手である。 ・ノートは線を使ったストーリー仕立ての独特なまめ方をする。(こだわり?)記憶力が良いため、それでもテストは満点が取れる。 ・漢字は読め始めるが、書くことが読みに苦手である。漢字を使いたがらないため、漢字を書く習慣が本人の中にある。	・斜構のため、文字や形が真ににくい場面があるかもしれない。	・ノートのマスに合わせて書いたときは読め、種分けしていく。 ・最低限必要な語句は言葉で書くように伝える。 ・新出漢字を毎日確認するとともに、漢字で書くメリットを伝えていく。 ・無理をさせないようにするため、タブレットを積極的に活用する。	・器用には大きく文字を書く。 ・家庭でもチャレンジタッチやプログラミングソフトを活用していく。	支援が必要な こと	・漢字を日常的に使う事。 ・ノートの取り方、冊子は本人の中で全く固い感を感じていないが、中学校ではどうか...? ・国語教科では、本人が取り組める読書量や分量に調整する必要がある。努力するポイントを明確にすることで意欲的にチャレンジをし、クオリティを向上させることができる。
	支援の結果					
	「こうしたらうまくいった」という手立て (または現在の手立て)					・必要感を持たせることで、自分の名前は漢字で書くこととする意欲が生まれた。 ・長い文章を書くときはタブレットを使って、ロイロノートやドキュメントに打ち込ませている。これによって疲弊が移り、文章表現力が大きく成長した。 ・毎日宿題で漢字練習をしたことで、テストでも1〜2点正解できるようになってきた。
	(令和 年 月 日 記入者:)					

進路希望に関わって、改めて保護者と話をする必要があるのではないか。



(2) 組織的に進めるための「引継ぎスケジュールシート」の作成

目的

ア 6年生の中学校入学までの1年間を中心に、特別支援部会、小・中連携の行事、引継ぎに関わるミーティング等を計画的に位置付ける。

イ 引継ぎのスケジュール、方法、必要なツール、メンバー等をチェックできるようにし、小・中学校間で共有できるようにする。

「幼小連携・接続のチェックシート」（北海道教育庁）を参考に、「引継ぎスケジュールシート」を作成しました。

月	小・中連携の行事・交流	小学校	中学校
4月	☐ 引継ぎの目的、内容の共有 ☐ 引継ぎの準備	☐ 本人・保護者の意向の確認、共有 ☐ 授業の学習、行事計画 ☐ 個別の教育支援計画（マニフェスト）の作成 ☐ 個別の指導計画の作成	☐ 本人・保護者の意向の共有 ☐ 年度の学習、行事計画 ☐ 個別の教育支援計画（マニフェスト）の作成 ☐ 個別の指導計画の作成
5月	☐ 引継ぎ特別支援部会の実施（小・中連携部会） ☐ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画	☐ 授業を受ける児童の指導計画 ☐ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画	☐ 授業を受ける児童の指導計画 ☐ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画
6月	☐ 小・中連携の行事・交流（特別支援部会）	☐ 授業を受ける児童の指導計画	☐ 授業を受ける児童の指導計画
7月	☐ 小・中連携部会（小・中連携部会）の実施 ☐ 引継ぎ特別支援部会の実施（小・中連携部会） ☐ 特別支援学級の授業支援の計画	☐ 授業を受ける児童の指導計画 ☐ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画	☐ 授業を受ける児童の指導計画 ☐ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画
8月	☐ 引継ぎ特別支援部会の実施（特別支援部会） ☐ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画	☐ 授業を受ける児童の指導計画 ☐ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画	☐ 授業を受ける児童の指導計画 ☐ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画
9月	☐ 引継ぎ特別支援部会の実施（特別支援部会） ☐ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画	☐ 授業を受ける児童の指導計画 ☐ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画	☐ 授業を受ける児童の指導計画 ☐ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画
10月	☐ 引継ぎ特別支援部会の実施（特別支援部会） ☐ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画	☐ 授業を受ける児童の指導計画 ☐ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画	☐ 授業を受ける児童の指導計画 ☐ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画
11月	☐ 引継ぎ特別支援部会の実施（特別支援部会） ☐ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画	☐ 授業を受ける児童の指導計画 ☐ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画	☐ 授業を受ける児童の指導計画 ☐ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画
12月	☐ 引継ぎ特別支援部会の実施（特別支援部会） ☐ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画	☐ 授業を受ける児童の指導計画 ☐ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画	☐ 授業を受ける児童の指導計画 ☐ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画
1月	☐ 引継ぎ特別支援部会の実施（特別支援部会） ☐ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画	☐ 授業を受ける児童の指導計画 ☐ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画	☐ 授業を受ける児童の指導計画 ☐ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画
2月	☐ 引継ぎ特別支援部会の実施（特別支援部会） ☐ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画	☐ 授業を受ける児童の指導計画 ☐ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画	☐ 授業を受ける児童の指導計画 ☐ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画
3月	☐ 引継ぎ特別支援部会の実施（特別支援部会） ☐ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画	☐ 授業を受ける児童の指導計画 ☐ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画	☐ 授業を受ける児童の指導計画 ☐ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画
4月	☐ 引継ぎ特別支援部会の実施（特別支援部会） ☐ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画	☐ 授業を受ける児童の指導計画 ☐ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画	☐ 授業を受ける児童の指導計画 ☐ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画 ☐ 特別支援学級の授業支援の計画

「引継ぎスケジュールシート」

「引継ぎスケジュールシート」＜8月～11月＞

引継ぎスケジュールシート【特別支援学級6年生の中学校移行へ向けての連携年間スケジュール】 案									
	2024.2.21版						確認日	令和	年 月 日
	小中連携の行事・交流				小学校		中学校		
8月	☐				☐	引継ぎマリーモ（6年生）の作成	☐	保護者面談の実施	
	☐				☐	保護者面談の実施			
9月	☐	引継ぎミーティングの参加メンバーの確認 （担任、副担任、特支Co）			☐	引継ぎマリーモの共有	☐	引継ぎマリーモの共有	
10月	☐	引継ぎミーティング①の実施 （生活面・行動面・人との関わり）			☐	引継ぎミーティングでの6年生の情報共有	☐	引継ぎミーティングでの6年生の情報共有	
11月	☐	小中交流会②（6年生登校日）の実施			☐	小中交流会の参加（6年生）	☐	6年生との授業実施	
	☐	引継ぎミーティング（交流会をふり返って）			☐	6年生の様子のふり返り・検証	☐	6年生の実態把握	
	☐				☐		☐	6年生の様子のふり返り・検証	

6年生の引継ぎに関わり、4月から3月までの1年間のスケジュールを小中連携の行事等を参考に小・中学校のそれぞれで整理しました。

(3) 引継ぎに関わる聞き取り調査①

- 7月～10月に学校視察研修として、札幌近郊の義務教育学校3校、中学校2校を訪問した。
- 目的：各校、地区での小中連携や引継ぎの情報を収集し、特別支援学級における小中連携や引継ぎの研究の取組を充実させる。
- 各学校の特別支援教育コーディネーターを中心に聞き取り調査を実施した。

訪問校	学校種	小学校・中学校間の引継ぎ時期	主な内容・ツール
A校	義務教育学校	・日常での担任間の引継ぎや情報共有を強化。	・「校内フェイスシート」を作成し、児童生徒の情報共有に活用している。
B校		・年度末の担任間の引継ぎが中心（特別支援教育コーディネーターも入る）。	・全員に「個人カルテ」を作成し、児童生徒の情報共有に活用している。
C校		・年度末の担任間の引継ぎが中心。	・校内でデータを共有し、日常的に閲覧できるようにしている。
D校	中学校	・年度末に実施。	・年度末にデータの引継ぎ、聞き取りを実施している。 （学習進度やレベル、本人への配慮事項、人との関わりの実態把握） ・小中交流会を企画し、実施している。
E校		・年度末に実施。	・年度末にデータの引継ぎ、聞き取りを実施している。 （身体面、学習面についての詳細の実態把握） ・「キャリアパスポート」のファイルを引継ぎ、校外学習や作文などの本人の取組を実態把握の参考にしている。

(3) 引継ぎに関わる聞き取り調査②

情報共有が必要となる場面

- 学級担任が変わる際の引継ぎを大切にしている。
- 進路に関わるため、保護者との面談内容も引き継ぐことを意識している。
- 中学校教員と児童との直接的な関わりが増えたことで、子供達が中学校の教員に対して安心感をもって接することができるようになった。
- 中学生が企画する小学校との交流会を定期的を実施している。
- 同じ校舎であっても、小と中では放課後の時間の使い方が違い、職員室の座席配置も分かれているため、情報共有には工夫が必要である。
- 新校舎となった後に、予定よりも特別支援学級在籍の児童生徒が増え、学習スペースの確保や支援に工夫が必要になってきている。
- 幼稚園との指導体制の違いを、早くから保護者と確認する必要がある。

5 今後に向けて

(1) 考察

- ア 引継ぎ資料を見直し、「個別の教育支援計画」における小・中学校間で共通した視点があると、情報共有が進みやすくなる。
→「実際の姿を見てもらえて良かった」「引継ぎが進んだ気がする」との声をいただいた。
- イ 年間でのミーティングの予定を小・中学校間で調整することで、継続した引継ぎミーティングが可能になる。
- ウ 小中交流会等の機会を通じて、複数の眼で継続的に児童の姿を見ていくことで実態理解が深まる。

(2) 研究の成果

- ア 「個別の教育支援計画（マリーモ）」を一部改訂した「引継ぎマリーモ」を資料として使うことで、**小・中学校間で観点を合わせて引継ぎ**を行うことが可能となった。
- イ 引継ぎの年間スケジュールや参加メンバー等を整理した「引継ぎスケジュールシート」を作成したことで、曖昧だった引継ぎが可視化された。
- ウ 「小中交流会」と「引継ぎミーティング」を併せて実施することで、**複数の教員で児童の実際の姿を見ながら情報を共有**することができ、情報伝達型ではなく、**情報共有型の引継ぎ**が可能になることが分かった。

(3) 今後の課題

- ア 保護者や本人の声を聞き、「引継ぎマリーモ」や「引継ぎスケジュールシート」に反映させながら、今できる支援につなげていく必要がある。
- イ 日常の業務の負担とならないよう、参加する先生方と引継ぎミーティングの進め方や内容、時間や回数を調整する必要がある。

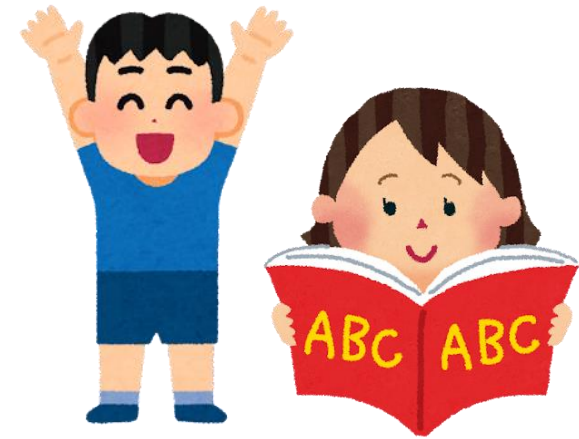
まとめ

引継ぎでの
情報共有

引継ぎスケジュールシートでの可視化

引継ぎマリーモの活用

引継ぎミーティングの実施



中学校

小学校



児童一人一人が安心して中学校生活をスタートするために

参考資料

- ・「生徒指導提要」文部科学省（令和4年12月）
- ・「通常学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果」文部科学省（令和4年12月）
- ・「障がいのある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」文部科学省（令和3年6月）
- ・「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進」文部科学省（平成24年7月）
- ・「小中連携、一貫教育に関する主な意見等の整理」文部科学省（平成24年7月）
- ・「学びや生活の基盤をつくる幼児教育と小学校教育の接続について」文部科学省（令和5年2月）
- ・「特別支援教育『連携づくり』ファシリテーション」三田地真実（平成19年3月）